

アシスト

「お客様の最高」のために

# Progress<sup>®</sup> Corticon<sup>®</sup>

システムの柔軟性を劇的に向上させ、スピード経営に寄与する！

Business Rules Management System



# ビジネスルールを “ありのまま” に表現!



## BRMSとは?

すべてのビジネスは、ビジネスルールにしたがって行われます。ところが、これまで情報システムの中でビジネスルールをまとめて記述する場所はありませんでした。そのため、ビジネスルールはいたるところに様々な表現方法で散在しています。ビジネスルールに変更がある時、担当者はどこに該当のビジネスルールがあるかを探し、適切に修正をしなければなりません。BRMSは散在するビジネスルールを一元化し、見える化することで、変更に強い柔軟性の高いシステムを実現します。



## ビジネスルールを “ありのまま” に表現するとは?

Progress Corticonは、業務アプリケーションの心臓部であるディジジョン・モデルを、ディジジョン・テーブルの形式でありのままに表現することができます。例えば、業務専門家と開発者で共通の言葉を使って設計/開発することで、柔軟性のある業務システムを高速に開発できるようになります。これにより、従来、プログラミングにより複雑になり、メンテナンス性を欠きがちだったビジネスルールを、視認性が高いままで開発/運用することが可能となります。

### 活用例 各分析評価を基に与信限度額を算定する場合のプログラムとディジジョン・テーブルの比較

```
DECLARE PROCEDURE DEVISION;
RULEID 0001;
RULEID 0002;
RULEID 0003;
RULEID 0004;
RULEID 0005;
RULEID 0006;
RULEID 0007;
RULEID 0008;
RULEID 0009;
RULEID 0010;
RULEID 0011;
RULEID 0012;
RULEID 0013;
RULEID 0014;
RULEID 0015;
RULEID 0016;
RULEID 0017;
RULEID 0018;
RULEID 0019;
RULEID 0020;
RULEID 0021;
RULEID 0022;
RULEID 0023;
RULEID 0024;
RULEID 0025;
RULEID 0026;
RULEID 0027;
RULEID 0028;
RULEID 0029;
RULEID 0030;
RULEID 0031;
RULEID 0032;
RULEID 0033;
RULEID 0034;
RULEID 0035;
RULEID 0036;
RULEID 0037;
RULEID 0038;
RULEID 0039;
RULEID 0040;
RULEID 0041;
RULEID 0042;
RULEID 0043;
RULEID 0044;
RULEID 0045;
RULEID 0046;
RULEID 0047;
RULEID 0048;
RULEID 0049;
RULEID 0050;
RULEID 0051;
RULEID 0052;
RULEID 0053;
RULEID 0054;
RULEID 0055;
RULEID 0056;
RULEID 0057;
RULEID 0058;
RULEID 0059;
RULEID 0060;
RULEID 0061;
RULEID 0062;
RULEID 0063;
RULEID 0064;
RULEID 0065;
RULEID 0066;
RULEID 0067;
RULEID 0068;
RULEID 0069;
RULEID 0070;
RULEID 0071;
RULEID 0072;
RULEID 0073;
RULEID 0074;
RULEID 0075;
RULEID 0076;
RULEID 0077;
RULEID 0078;
RULEID 0079;
RULEID 0080;
RULEID 0081;
RULEID 0082;
RULEID 0083;
RULEID 0084;
RULEID 0085;
RULEID 0086;
RULEID 0087;
RULEID 0088;
RULEID 0089;
RULEID 0090;
RULEID 0091;
RULEID 0092;
RULEID 0093;
RULEID 0094;
RULEID 0095;
RULEID 0096;
RULEID 0097;
RULEID 0098;
RULEID 0099;
RULEID 0100;
END;
```

自己資本比率だけで  
判定しない  
ようにしたい。



与信部門

変更の影響が  
わからない…。  
全部見ないと。



開発者

条件	0	1	2	3	4	5	6	7	8
a 財務 売掛比率		>= 200	150,199	100,149	< 100				
b 財務 負債比率						>= 100	< 100		
c 財務 自己資本比率								>= 50	40,49
d 財務 固定比率									
e 財務 総資本回転率									
f 財務 売上債権回転回									
g 財務 売上高増加率									
h 財務 売上高減少率									
i 顧客 業種コード									
j 財務 従業員一人あたり売上									
k									
アクション									
A メッセージの送信		01	01	01	01	01	01	01	01
B 財務 超過貸付フラグ		0							
C 顧客 スコア変動分析=0									
D 顧客 スコア変動分析=顧客 スコア変動分析+diffvalue		15	12	8	0	20	0	15	12
E 財務 超過貸付フラグ									
F 顧客 超過貸付フラグ									



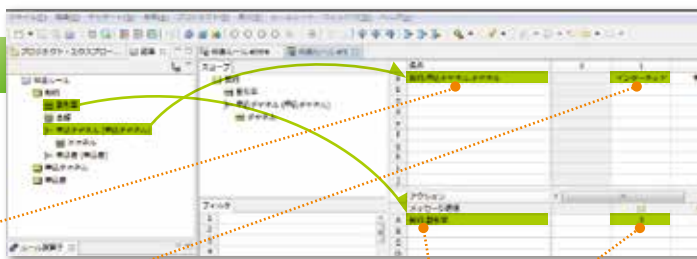
ディジジョン・モデル(与信限度額の算定)

# Progress Corticon の特長

## 特長 1 100%コーディングレス!



コーディングがまったく必要ないので、プログラミング言語が読めない業務ユーザが自身でルールを記述し、ルールのテストまで実施可能です。



業務ルールの設定例

契約された申込チャンネルがインターネットの場合、割引率を5%にする

## 特長 2 ルールの論理エラーをすぐ検証!



要件定義時や、設計時に設定したルールの論理性を1クリックで自動検証し、曖昧性や完全性、無限ループの発生を容易に発見することができます。

- 1クリックで **曖昧性の確認** 同じ条件でアクションが異なる曖昧なルールを自動的に特定
- 1クリックで **完全性の確認** すべての条件における値の数学的な組合せを計算し、不足した組合せを自動的に追加
- 1クリックで **ループの確認** ルール間で論理的な無限ループが発生している場合、自動的に問題のルールを特定

ルールの曖昧性

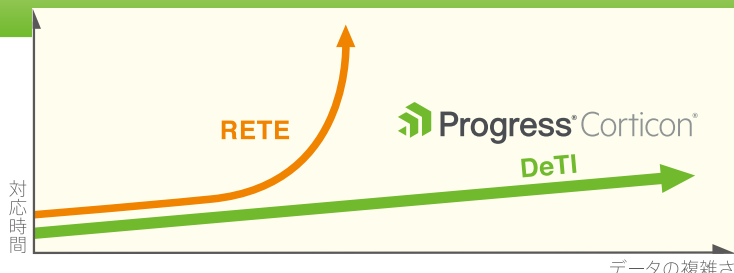
ルールの完全性

ルールの無限ループ

## 特長 3 高速アルゴリズム!



特許取得済み技術である、DeTI (データイ) (Design-Time-Inferencing™) アルゴリズムを採用。従来のアルゴリズムRETE (リート) に比べ、ルール数だけでなく、データの“複雑さ”の増加に対しても拡張性が優れています。



## 特長 4 抜群のQCD効果!



QCDに関する課題を解決します!

- ☑ ビジネス変化にシステムが柔軟に対応できない
- ☑ 業務ユーザとの認識齟齬により開発工期が延長し、コストが増加する
- ☑ 変更依頼がすぐにシステムに反映できず、システムリリースが間に合わない



### QCD 効果の例

**Q** UALITY レセプト作成業務

複雑多岐なルール

**4000** 種類を一元管理

レセプト (診療報酬明細書) 作成業務の品質が向上!

導入前 作成業務が個人の知識やノウハウに依存。手作業による記載ミスの発生。

導入後 属人化していた業務がシステム化されることにより、**レセプト作成の品質が向上**。

**C** OST 入会審査業務

人員数

**30% DOWN**

審査業務に携わる人員数が削減!

導入前 手作業による審査前の不備チェックや審査業務: **15名**

導入後 Corticonによるシステム化: **11名** (4名削減!)

**D** ELIVERY 新商品開発

新商品発売までのスピード

**4倍 UP**

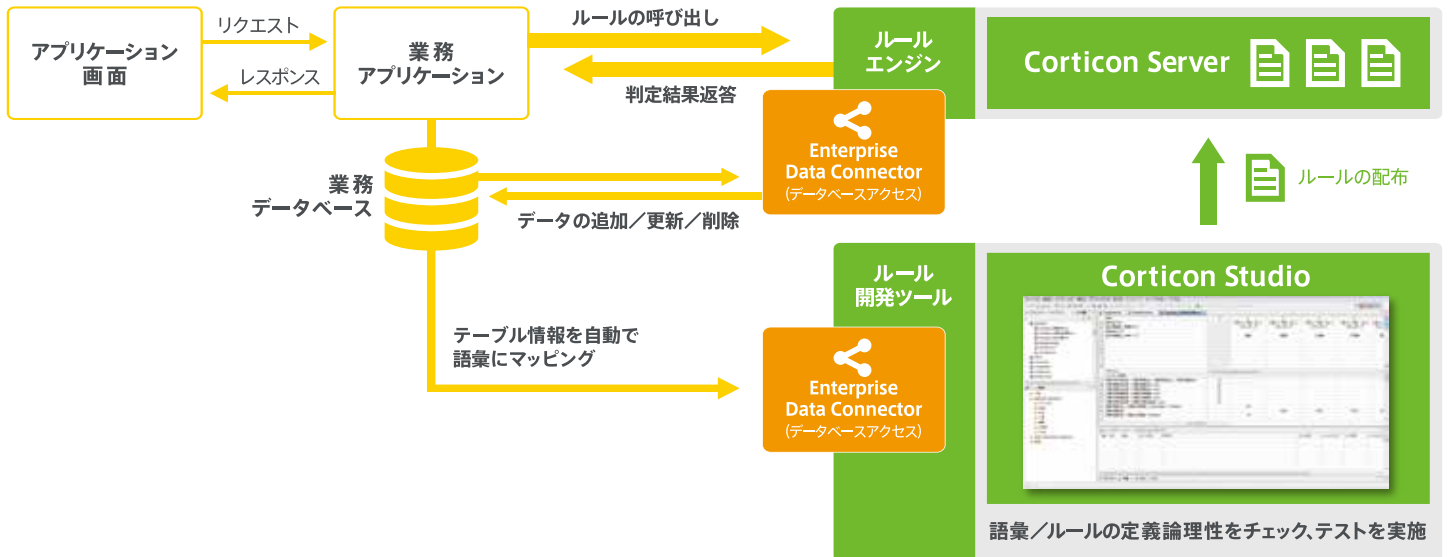
新しい商品の発売にかかる期間が短縮!

導入前 スクラッチ開発したシステム: **約1年**

導入後 Corticonを使った新システム: **約1~3カ月** (約10ヶ月短縮!)

## ◆ 製品構成

CorticonはルールをモデリングするStudioと、ルールを実行するServerで構成されています。StudioはクライアントWindows環境、ServerはWindows、Linuxサーバ環境です。オプションとしてデータベースへ連携することも可能です。



ライセンス名称	概要
<b>Corticon Server</b>	ルールエンジン本体です。配布されたルールを業務アプリケーションからの呼び出しにより実行し、判定結果を返答します。
<b>Corticon Studio</b>	ルールをモデリングするクライアント製品です。ルールの定義、論理性チェック、テストを行い、開発したルールをルールエンジンに配布します。
<b>Enterprise Data Connector(EDC)</b>	オプション製品です。ルールエンジンからSQLコーディング無しに業務データベースへアクセスすることができます。

## ◆ 導入実績

保険、金融業を中心に、ビジネスルールやロジックが頻繁に発生するあらゆる企業、業種で導入されており、Progress Corticonは世界で40カ国以上の導入実績があります。



## ◆ 開発元情報 Progress

マサチューセッツ州ベッドフォードで1981年に設立。30年を超える成功の歴史を持つ。デプロイビッグデータおよびデータ接続リアルタイム解析、意思決定支援とデータ可視化など各分野にわたるアプリケーション開発を行う。NASDAQ上場(NASDAQ:PRGS)。売上高は5億ドル以上、全世界に、1,800名の社員を抱え、全世界175カ国以上に2,000社の代理店と14万以上の顧客企業および500万人以上のユーザを持つ。

お問い合わせは **株式会社アシスト**

アシスト BRMS

U R L [https://www.ashisuto.co.jp/product/category/brms/progress\\_corticon/](https://www.ashisuto.co.jp/product/category/brms/progress_corticon/)

E-Mail [progress@ashisuto.co.jp](mailto:progress@ashisuto.co.jp)

東京	〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル	Tel:03-5276-3653
札幌	〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル13F	Tel:011-281-1161
仙台	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア19F	Tel:050-3816-0970
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ4F	Tel:052-232-8211
金沢	〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F	Tel:050-3816-0972
大阪	〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	Tel:06-6373-7113
広島	〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル3F	Tel:050-3816-0974
福岡	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勤筑紫通ビル9F	Tel:092-481-7156
沖縄	〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F	Tel:050-3816-0976